

My Garden Story
Part.8

モダンは無機質ではない。モダンだけど温かい。
それが日本人のDNAに響いてくるモダン。

モダンエクステリア from Heaven's Garden

MODERN Exterior

取材・文◎野神由紀子
撮影◎漆戸美保
写真提供◎Heaven's Garden



1. 単調になりがちな目隠しの塀も、異なる色の石やブロックを配置することで飽きのこないデザインに。高級感のある素材を用いるのもポイント。

2. 家の裏手には、コンクリート塀に加え、植栽による天然の目隠しが。閉塞感を一切感じさせない、まるで回廊のような雰囲気仕上げられている。

3. グレーや黒といった色の素材を際立たせるために、敷石には白い小石を取り入れている。それと同時に、全体が締まり、重厚感も生まれた。

4. 元々設置されていたアルミのスクリーンフェンス周辺には、アルミ特有の冷たさを緩和すつため、植栽とコンクリートタイルのナチュラルな壁を設置。



外構に集う、存在意義と遊び心

ただ斬新なだけではなく、ただ機能的なだけではない。

このエクステリアの一つひとつには、
存在意義と遊び心がきちんと詰っているのです。

家全体を立体感ある石塀でリズムカルに囲むことで、目隠しをしながらも開放的な仕上がり。

さらに驚きの工夫が、玄関までのアプローチとなるブロック敷きの道にあります。なんと、視覚的に道を長く感じられるよう、奥に行くほどブロックの数が少なくなっているのです。この繊細な遠近法も、家に必要な動きをもたらしているのです。

「平面的になりがちな石塀は、サイズ違いの石を前後にずらし立体感を出しました。閉塞感なくプライバシーを守るための工夫です」。各ポイントに設置された間接照明も、夜の明り取りだけではなく、夜には石の凹凸の陰影が踊りだし、晴れの日は輝きと明るさを放ち、雨に濡れば艶と重厚感を生みだす……。天気や時間帯で表情が変わる工夫が施されているのです。

柿崎さんならではの強み。

「無機質なところに動きや彩りを出すのは、一見相性が良くないと思われがちですが、家とエクステリアの素材の質感を合わせれば、統一感が生まれてとても良い相性になるものなのです」。

一つひとつ見ていくと、その言葉に納得。エクステリアは高級感のある石とコンクリートで統一されていて、直方体でシンプルな家の硬質感と実によく合っているのがわかります。「柔らかさを醸し出す木材やレンガに比べ、石やコンクリートは硬質ですが、"ナチュラル"という質感も持ち合えます。ナチュラルな柔らかさで無機質だけでは終わらない動きを出しました」。

そして、一つひとつに存在意味を持たせつつ、視覚的な遊びを挿し込むセンスも、柿崎さんならではの強み。

その時、柿崎さんが提案したものについて本人に話を伺いました。

「白を基調とした直方体の我が家。無機質なイメージになつてしまう点で物足りなさを感じていました。エクステリアで動きや彩を挿したいと思っていたのですが、なかなか自分ではイメージできなくて……」。

「ご主人との二人暮らしを楽しむ平田さんは、家を建てた当初、このような悩みを抱えていました。そんな時に、"センスが良くて面白いデザイナーさんがいる"と知人から紹介されたのが、ヘブンズガーデンのエクステリアデザイナー柿崎さんです」。

素材の統一と遠近法で、動きと彩りを添える。

▶ Interview

神奈川県開成町
平田邸

外観、屋内、間取り、インテリア、すべてにおいてデザイナーズ注文住宅のようにハイセンスな平田家。エクステリアにも高級感とデザイン性の高さが備わっている。



華やかさと上品さが共存する家

誰をも魅了する憧れのエクステリア。そこには必ず、普遍的なモダンエクステリアが存在しています。



シンプルな家に、エレガントなアーチや黒いアプローチで重厚感をプラス。上品なシャンパンゴールドがポイント。



7



8

神奈川県藤沢市 肥塚邸

女の子二人を持つ4人家族。自然光が降り注ぐスタイリッシュなエクステリアが印象的。玄関や階段などに一体感があり開放的なアプローチとなっている。

7. 門柱に施された、目隠しのパネルと同系色のガラスのオブジェ。透明感が明るさと清潔感を演出している。

8. すべてを直線で設計することでさらにスタイリッシュに。

9. 手すりのみでオープンに仕上げたテラス。植栽を入れることで自然な目隠しに。



9

直線から生まれる スタイリッシュ



6



5

5. 白い石を敷き詰めた中にはシンボルツリーが。モダンな中にも自然の温かい息吹を感じられる設え。6. 黒系の色で統一された玄関までのアプローチ。全体的に優しい色が多い中に挿し込まれた黒が、全体のバランスを引き締め、重厚感をさらに引き出している。

Interview

神奈川県藤沢市
矢野邸

わんぱく盛りの男の子二人でいつも家の中がにぎやかな4人家族。理想のエクステリアを手に入れた次の夢は、キャッチボールができる広い庭に植栽を作ること。



高いデザイン性の中に
存在意義と温もりを持つ。

シンプルな家に重厚感を持たせたい。これが矢野さんご夫婦の希望。

「漠然とした希望を伝えると、柿崎さんはその場で紙にイメージを手描きでおこしてくれました。そのイラストが思い描いていた以上の内容で感動したのを覚えています」。

今回のエクステリアの大きなポイントは、家のサッシと同系色のシャンパンゴールドを用いた点。「家の顔とも言えるアーチゲート。家と外構の統一感を出すため、色の統一を図りました。それにシャンパンゴールドは、使い方によってはとても上品な挿し色となる色なので、隠すのではなくシンプルでデザインを用いて大胆に前面に出すことでエレガントに仕上げました。それを幾重にも重ねることで重厚感が生まれ、さらに斬新さと華やかさも添えられたようです」。

そして次は、「スタイリッシュな雰囲気を作りたい」という肥塚さんのお宅。「背の高い目隠しが必要な場所だったので、採光と目隠しの両者を叶えるマットなガラス色のポリカーボネートを使いました。そして、すべてのラインを直線で統一することで、さらにスタイリッシュなテイストを強めました」。

色彩と素材合わせの魔法で生まれた、重厚感と優しさの共存。高いデザイン性の中にある、一つひとつの存在意義と自然の温もり。それらすべての融合によって誕生するのが、モダンエクステリアなのです。



本物を大切にする
エクステリア・ガーデニングの専門店です。



ヘブンズガーデン代表
柿崎 浩司

資格：二級建築士
インテリアコーディネーター
趣味：料理・仕事・マラソン

2003年テレビ東京系「TV
チャンピオン（ガーデニング
王決定戦）」に出場



ヘブンズガーデン
〒252-0813
藤沢市亀井野1515
Tel:0466-90-0555

0120-08-6658
www.heavens-garden.co.jp

ヘブンズガーデン

検索